農業競争力強化農地整備事業
（農地整備事業【中山間地域型】）

土　地　改　良　事　業　計　画　書

（　区　画　整　理　）

県　　名	岩　　手
地　区　名	駒　　木
所　在　地	一　戸　町
事業主体	岩　手　県

土　地　改　良　事　業　計　画　書

目　　次

第１章　目　　的 ---------- 1
第２章　地域及び地積 ---------- 2
　第１節　地域 ---------- 2
　第２節　地積 ---------- 2
第３章　現　　況 ---------- 3
　第１節　気象及び海象 ---------- 3
　　１．一般気象 ---------- 3
　　２．特殊気象 ---------- 4
　　３．海象 ---------- 4
　第２節　土地状況 ---------- 5
　　１．地形、土壌及び侵食の程度 ---------- 5
　　２．土地分類 ---------- 7
　　３．土地利用の状況 ---------- 8
　　４．土地所有の状況 ---------- 9
　第３節　水利状況 ---------- 10
　　１．用水状況 ---------- 10
　　２．排水状況 ---------- 16
　　３．河川状況 ---------- 20
　第４節　道路概況 ---------- 21
　　１．道路概況 ---------- 21
　　２．主要道路一覧表 ---------- 22
　第５節　地域農業の概況 ---------- 24
　　１．産業別就業人口 ---------- 24
　　２．経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況
　　並びに専兼業別農家数 ---------- 25
　　３．動力農機具及び主要家畜頭数 ---------- 26
　　４．主要作物作付状況 ---------- 27
　　５．農業の動向 ---------- 28
　第６節　地域環境の概況 ---------- 28
第４章　一般計画 ---------- 29
　第１節　事業計画の要旨---------- 29
　　１．要旨 ---------- 29
　　２．事業別面積 ---------- 29
　第２節　営農計画及び土地利用計画 ---------- 30
　　１．営農計画の概要 ---------- 30
　　２．土地利用区分 ---------- 30
　　３．作付方式 ---------- 31
　　４．生産計画 ---------- 32
　　５．労働改善計画 ---------- 33
　　６．級地別土地利用区分---------- 34
　　７．土地配分計画 ---------- 34
　第３節　用水計画 ---------- 35
　　１．計画基準年 ---------- 35
　　２．計画かんがい方式 ---------- 35
　　３．計画用水系統 ---------- 35
　　４．計画用水量 ---------- 37
　　５．水源計画 ---------- 39
　第４節　排水計画 ---------- 42
　　１．計画基準雨量 ---------- 42
　　２．計画排水方式 ---------- 42
　　３．計画排水系統 ---------- 42
　　４．計画排水量 ---------- 44
　　５．排水対策 ---------- 45
　　６．湛水検討 ---------- 46
　第５節　道路計画 ---------- 47
　　１．道路及び索道 ---------- 47
　　２．路線配置図 ---------- 47
　第６節　農用地造成計画 ---------- 49
　　１．農用地造成計画---------- 49
　　２．土壌改良 ---------- 49
　第７節　洪水調節計画 ---------- 50
　　１．計画基準雨量---------- 50
　　２．計画洪水量及び調節量 ---------- 50
　　３．貯水池 ---------- 50
　　４．洪水調節検討---------- 51
　　５．管理計画 ---------- 51

第８節　干拓計画 ---------- 51
第９節　農用地整備計画 ---------- 52
１．区画整理 ---------- 52
２．暗渠排水 ---------- 54
３．客土 ---------- 55
４．農地保全 ---------- 55
第１０節 老朽ため池改修計画 ---------- 56
１．洪水吐改修計画 ---------- 56
２．堤体補強計画 ---------- 56
３．取水施設改修計画 ---------- 56
第５章　主要工事計画 ---------- 57
第１節　用水施設 ---------- 57
１．貯水池 ---------- 57
２．頭首工 ---------- 58
３．揚水機 ---------- 58
４．用水路 ---------- 59
５．その他かんがい施設---------- 59
第２節　排水施設 ---------- 60
１．排水水門 ---------- 60
２．排水機 ---------- 60
３．排水路 ---------- 61
４．その他排水施設---------- 61
第３節　道路及び索道 ---------- 62
１．道路 ---------- 62
２．索道 ---------- 62
第４節　農用地造成 ---------- 63
１．農用地造成 ---------- 63
２．土壌改良 ---------- 64
第５節　洪水調節施設 ---------- 65
１．貯水池 ---------- 65
２．頭首工及び導水路 ---------- 65
第６節　干拓施設 ---------- 65
１．堤防 ---------- 65
２．潮止め ---------- 65
３．付属施設 ---------- 65
４．埋立 ---------- 65
第７節　農用地整備施設 ---------- 66
１．区画整理 ---------- 66
２．暗渠排水 ---------- 67
３．客土 ---------- 67
４．除礫 ---------- 67
５．農地保全 ---------- 68
第８節　老朽ため池改修施設 ---------- 69
１．貯水池 ---------- 69
２．堤体補強施設 ---------- 69
第６章　附帯工事計画 ---------- 70
第７章　工事の着手及び完了の予定時期 ---------- 70
第８章　環境との調和への配慮 ---------- 70
第９章　換地計画の概要 ---------- 71
第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方 71
第２節　換地区の設定 ---------- 71
１．換地区の名称、所在、面積 ---------- 71
２．換地区を設定する理由 ---------- 71
第３節　換地計画樹立の基本方針---------- 72
１．従前の土地の地積の基準 ---------- 72
２．用途別予定地積 ---------- 73
３．農用地集団化の方針 ---------- 74
４．非農用地の換地方法 ---------- 74
第４節　土地の評価及び清算の方法 ---------- 75
１．評価の方法 ---------- 75
２．清算の方法 ---------- 75
第５節　換地計画樹立の年度計画 ---------- 75
第６節　換地処分の時期の関する特則 ---------- 75
第１０章 事業費の総額及び内訳 ---------- 76
第１１章 効　　用 ---------- 76
第１２章 関連する事業 ---------- 77
第１３章 現況・計画図面---------- 78
１．位　置　図 ---------- 78
２．現況計画平面図 ---------- 78
３．土地利用計画図 ---------- 78
４．主要構造図 ---------- 78

第１章　　目　　的

本地区は、岩手県の北部に位置する二戸郡一戸町の中心市街地より南方約8kmに位置している。地区の西側をIGRいわて銀河鉄道と一般国道4号が、南北方向には一級町道平糠線が縦断しており、地区内には一級河川平糠川が流れている。

本地区の生産基盤は、区画が10a程度の未整備不整形の湿田であり、農道の幅員が2m程度と狭小、水路は用排兼用の土水路で維持管理に多大な労力を要しているほか、農地が排水不良のため大型機械の導入や低コスト経営の大きな阻害要因となっている。

これらを解決するため、本事業により高生産性ほ場を整備し、営農や維持管理等の省力化を図ると共に、担い手への農地集積を推進し、農業経営の安定化を図るものである。

第２章　地 域 及 び 地 積

第１節　地　　域

（第１表）

事 業 名	地　　域
区　画　整　理	岩手県二戸郡一戸町小鳥谷地内

第２節　地　　積

（令和６年10月現在）（第２表）

事業名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原　野 (ha)	山　林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　　考
区　画　整　理	一戸町	8.7	3.6	0.1	－	0.5	12.9	
	計	8.7	3.6	0.1	－	0.5	12.9	
	計							
合　　計		8.7	3.6	0.1	－	0.5	12.9	

第３章　　現　　況

第１節　気象及び海象

１．一般気象

（岩手県農林水産部農村計画課　計画樹立参考資料　令和６年３月版）　　（第３表－１）

観測所名	奥中山象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	H25～R4年	５月～　８月	９月～　４月		
平均気温（℃）		17.8	3.6	8.3	
降水量	平均(mm)	594.5	690.2	1,284.7	
	基準年(mm)	－	－	－	
降水日数	平均(日)	46	96	142	
	基準年(日)	－	－	－	
根雪期間		12月　7日　～　3月 30日		114日間	
無霜期間		5月 26日　～　10月　6日		134日間	
最多風向		SSW	最大風速 （風　向）	10.1 （　W　）	最多風向発生時期　　月～　　月 最大風速発生年月日　　2013年3月2日

※ 最大風速のデータは気象庁のホームページによる。

２．特殊気象

（岩手県農林水産部農村計画課　計画樹立参考資料　令和６年３月版）
（第３表－２）

観測所名	第１位			第２位			第３位			第４位			第５位			備考
奥中山気象観測所																
観測期間 T7年～R4年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量 (mm)	154.0	H3.8.31	1／65	141.0	H18.10.7	1／37	138.0	H19.9.17	1／33	136.0	H14.7.11	1／30	124.0	H25.9.16	1／18	
最大時間雨量 (mm)	72.0	S43.7.9	－	46.0	S38.7.23	1／44	40.5	R3.6.26	1／21	40.0	R4.8.3	1／20	38.0	S45.8.1	1／15	
最大４時間雨量 (mm)	94.5	R4.8.3	1／130	87.5	R4.8.3	1／70	87.0	S43.7.9	1／67	80.0	H25.9.16	1／36	79.0	H25.9.16	1／33	
最大３日連続雨量 (mm)	192.0	H18.10.8	1／40	189.0	H18.10.7	1／35	188.0	T15.8.5	1／34	184.0	H7.8.7	1／29	178.0	T9.8.9	1／22	
最大連続旱天日数 (日)	42	S53.6.23	－	42	S3.7.18	－	41	S48.6.20	－	39	S4.7.8	－	31	S32.6.5	1／50	

３．海　　象　　該当なし

第２節　土地状況

１．地形、土壌及び侵食の程度

（第４表－１－１）

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高（m）		備考
	傾斜区分	1/1,000 以下	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～8°	8° ～15° 8° ～10°	8° ～15° 10° ～15°	8° ～15° 8° ～15°	15° ～20°	20° 以上	計	最高	最低	
区画整理	面積(ha)			8.7			8.7	3.6							3.6	247	203	
	比率(%)			100.0			100.0	100.0							100.0			
	面積(ha)																	
	比率(%)																	
合計	面積(ha)			8.7			8.7	3.6							3.6			
	比率(%)			100.0			100.0	100.0							100.0			

〔水田土壌〕 （第４表－１－２）

項目 / 土壌統(区)名	土壌統（区）区分一覧表										面積（ha）			備考
	土壌断面								堆積様式	母材	事業名			
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性 表土 一層	土性 下層土 二層	土性 下層土 三層	泥炭層 黒泥層 及びグライ層			区画整理		計	
宇別統 黒色土壌 火山腐植型 H-70	YR(黒) YR(黒)	全層腐植層	なし	あり	LiC	LiC	―	なし なし なし	風積	非固結火成岩	8.7		8.7	
計											8.7		8.7	

該当なし （第４表－１－３）

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ浸食の程度		備考
			0～25%	25～50%	50%以上		3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積(ha)											
	比率(%)											

２．　土地分類

該当なし　（第４表-２-１）

級地別 / 市町村名	農用地造成										計	備考
	一級地	二級地				三級地				四級地		
		※	3°～8°	8°～	12°～15°	※	15°～20°	20°～25°	25°～30°	30°以上		
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
計												

該当なし　（第４表-2-2）

級地別 / 市町村名	干拓					備考
	一級地（ha）	二級地（ha）	三級地（ha）	四級地（ha）	計（ha）	
計						

３．土地利用の状況

（令和６年10月現在）（第４表－３）

事業名	土地利用別 ＼ 市町村名	耕地						山林		採草放牧地	原野	その他	計	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	樹園地その他の (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	一戸町	8.7	3.6	－	－	－	－	－	－	－	0.1	0.5	12.9	
合計		8.7	3.6	－	－	－	－	－	－	－	0.1	0.5	12.9	

４．土地所有の状況

（令和６年10月現在）　（第４表－４）

事業名	所有別 区　分	個人有	国有	県有	市有	土地改良区有	その他	計	備　　考
区画整理	面　　積(ha)	12.5	－	－	0.4			12.9	
	受益者数(人)	29						29	
	筆　　数(筆)	111			22			133	
	権 利 関 係								
	備　　考 (関係戸数)	(29)							
	面　　積(ha)								
	受益者数(人)								
	筆　　数(筆)								
	権 利 関 係								
	備　　考 (関係戸数)								
合計	面　　積(ha)	12.5			0.4			12.9	
	受益者数(人)	29						29	
	筆　　数(筆)	111			22			133	
	権 利 関 係								
	備　　考 (関係戸数)	(29)							

第３節　水利状況

１．用水状況

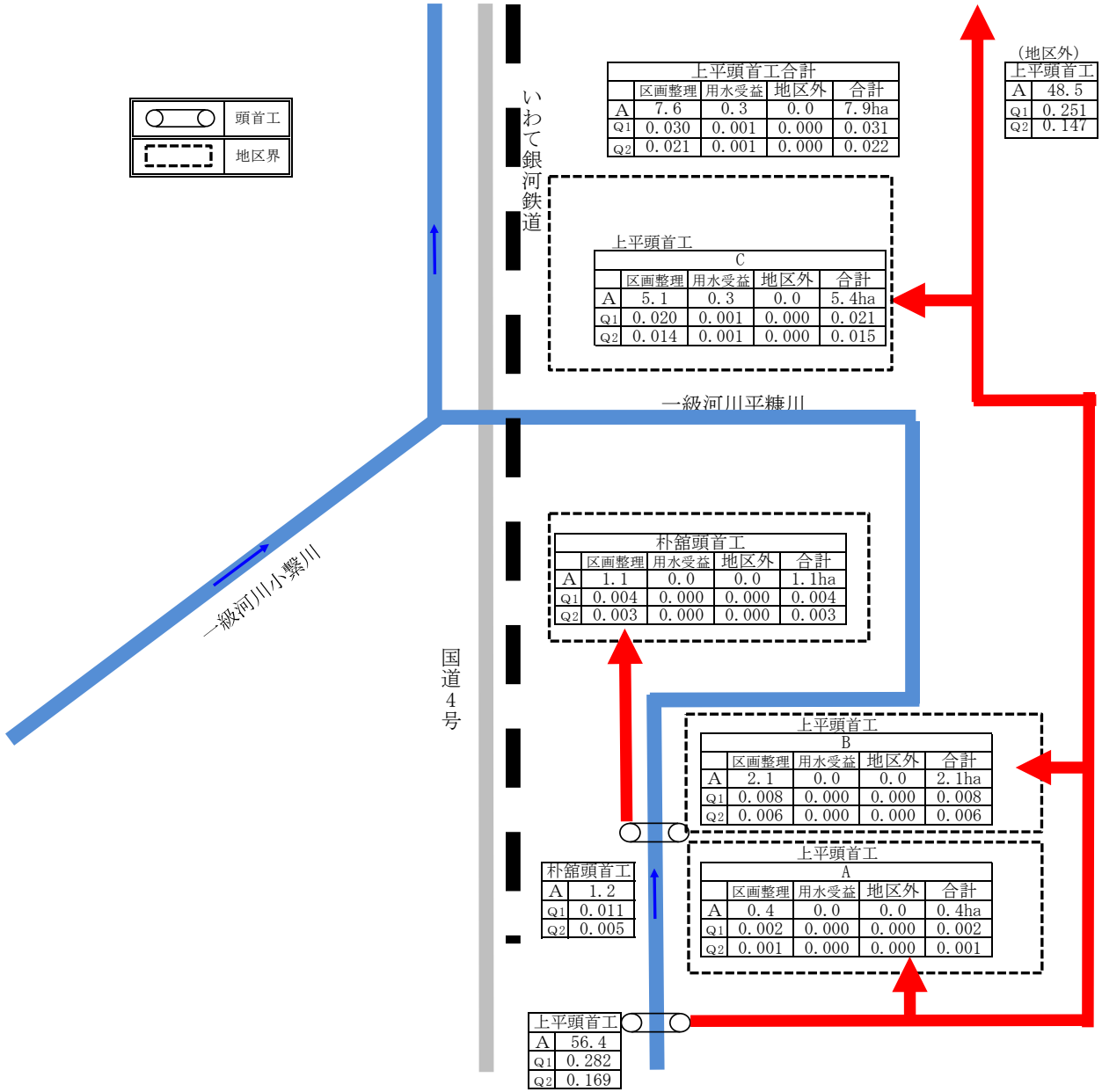
本地区の用水は、平糠川に設置された上平頭首工より取水し、山腹水路を経由して導水されるブロック、朴舘頭首工より導水されるブロックに分けられる。

地区内の小用水路は、多面的機能支払制度等で所々舗装されているが、ほとんどが土水路で断面も一定ではなく、用排兼用の水路となっている。そのため、土壌浸透による用水の損失や法面の崩落等による通水障害も生じており、水管理及び維持管理等に多大な労力と経費を費やしている。

（１）　用水系統

次頁参照

駒木地区　現況用水系統図（オール水田）



上平頭首工合計

	区画整理	用水受益	地区外	合計
A	7.6	0.3	0.0	7.9ha
Q1	0.030	0.001	0.000	0.031
Q2	0.021	0.001	0.000	0.022

上平頭首工

C

	区画整理	用水受益	地区外	合計
A	5.1	0.3	0.0	5.4ha
Q1	0.020	0.001	0.000	0.021
Q2	0.014	0.001	0.000	0.015

（地区外）

上平頭首工

A	48.5
Q1	0.251
Q2	0.147

朴舘頭首工

	区画整理	用水受益	地区外	合計
A	1.1	0.0	0.0	1.1ha
Q1	0.004	0.000	0.000	0.004
Q2	0.003	0.000	0.000	0.003

上平頭首工

B

	区画整理	用水受益	地区外	合計
A	2.1	0.0	0.0	2.1ha
Q1	0.008	0.000	0.000	0.008
Q2	0.006	0.000	0.000	0.006

上平頭首工

A

	区画整理	用水受益	地区外	合計
A	0.4	0.0	0.0	0.4ha
Q1	0.002	0.000	0.000	0.002
Q2	0.001	0.000	0.000	0.001

朴舘頭首工

A	1.2
Q1	0.011
Q2	0.005

上平頭首工

A	56.4
Q1	0.282
Q2	0.169

用水ブロック

	区画整理	用水受益	地区外
A	かんがい面積(ha)		
Q1	代掻用水量(m3/s)		
Q2	普通期用水量(m3/s)		

駒木地区全体

	区画整理	用水受益	地区外	合計
A	8.7	0.3	0.0	9.0ha
Q1	0.034	0.001	0.000	0.035
Q2	0.024	0.001	0.000	0.025

（２）　用水施設

（ア）　取水方法一覧表

（第５表－１）

事業名	項目 / 施設名	かんがい面積 500ha以上		500～100ha		100ha未満		計		水利権		慣行水利権		延取水量	備考
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m^3/s	箇所	m^3/s	m^3/s	
区画整理	貯水池	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	井堰	－	－	－	－	1	1.1	1	1.1	－	－	1	0.011	0.011	朴舘頭首工
	自然取水口	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	揚水機	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	用水路	－	－	－	－	3	7.9	3	7.9	－	－	3	0.282	0.282	上平頭首工
	計	－	－	－	－	4	9.0	4	9.0	－	－	4	0.293	0.293	
合計		－	－	－	－	4	9.0	4	9.0	－	－	4	0.293	0.293	

（イ）改修を要する施設一覧表

（第５表－２）

事業名	項目／施設名	施設名又は箇所数	受益面積(ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
区画整理	貯水池							
	井堰							
	自然取水口							
	揚水機							
	用水路	全体	7.9	土水路	L=1,573m	－	区画整理	パイプライン接続のため取水口を改修
	その他							
	計		7.9					
合計			7.9					

（３）　用水に関する被害状況

（ア）　用水不足による被害状況　　該当なし

（第５表-３-１）

事業名	項目 / 系統名	かんがい面積 (ha)	現況必要水量 (千m³)	不足水量				平均減産量 (t)	平均維持管理費 (千円)	備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量				
				平均(m³/s)	基準年(m³/s)	平均(m³/s)	基準年(m³/s)			
	計									
合計										

（イ）その他の被害状況　　該当なし

（第５表-3-2）

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温(℃)		被害量 (t)	備考
			最高	最低		

（４）　ため池決壊の場合の想定被害状況

該当なし

（第５表-３-３）

事　業　名	想定被害面積(ha)				想定被害額（千円）						人命（人）	備　考
	水田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計		
計												
合　計												

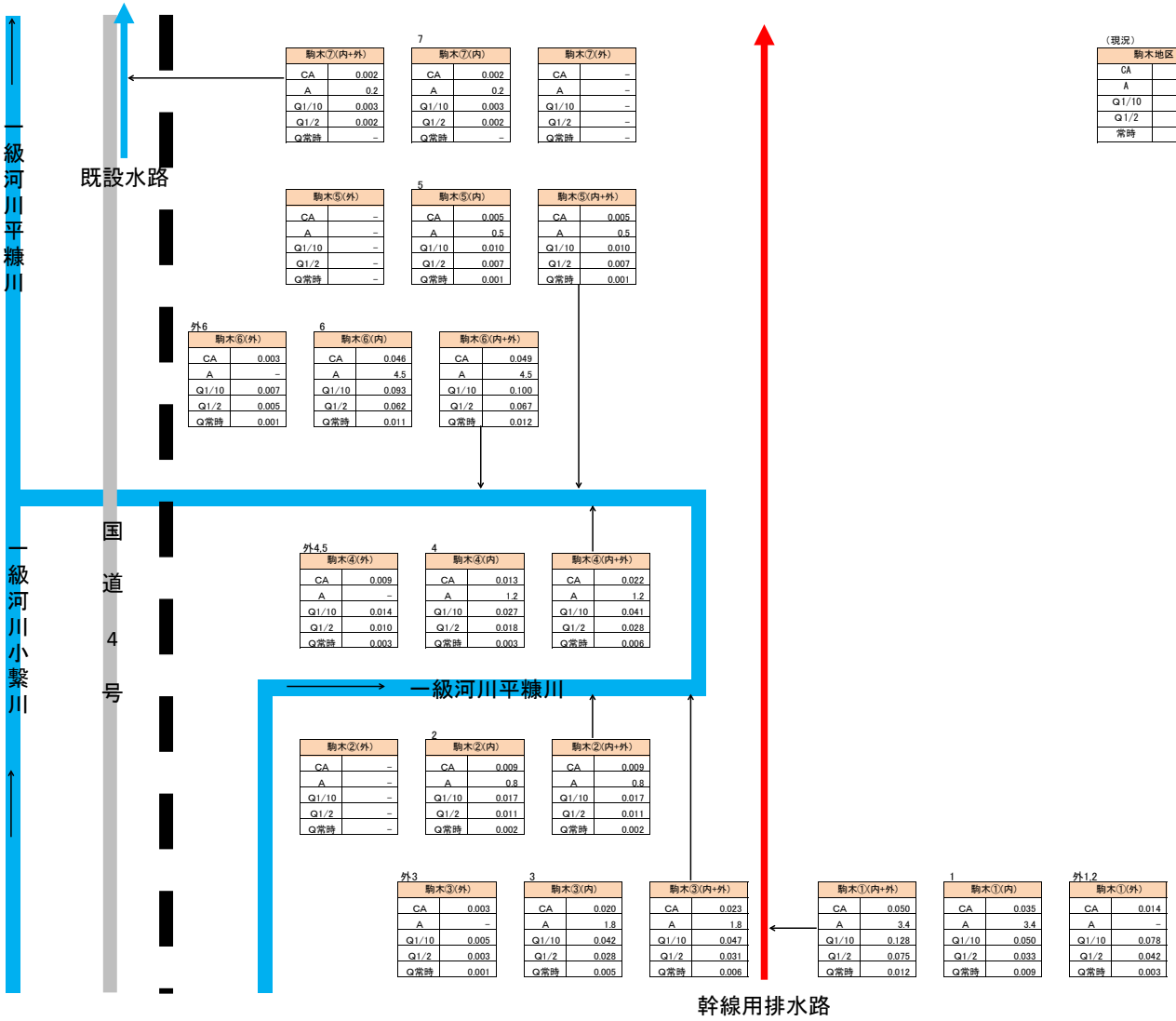
２．排水状況

本地区の排水は、地区内の用排水路を経由し、一級河川平糠川へ排水される。
地区内の小排水路は、用排兼用の土水路となっており、水路底が浅く、表面水のみが排水可能な状況であるため、水田の汎用化が行えない状況となっている。また、法面の崩落等による通水障害も生じており、維持管理に多大な労力と経費を費やしている。

(1) 排水系統

次頁参照

駒木地区　現況排水系統模式図



（現況）

駒木地区	
CA	0.159
A	12.3
Q1/10	0.346
Q1/2	0.221
常時	0.039

(2) 排水施設

（ア）排水方法一覧表

（第５表－４）

事業名	項目 / 施設名		排水面積 500ha以上 箇所	500ha以上 ha	500～100ha 箇所	500～100ha ha	100ha未満 箇所	100ha未満 ha	計 箇所	計 ha	排水慣行 (m^3/s)	現況排水能力 (m^3/s)	備考
区画整理	自然	排水路					7	15.9	7	15.9		0.346	
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計						7	15.9	7	15.9		0.346	
合計							7	15.9	7	15.9		0.346	

※箇所は、排水系統の系統数を示す。

（イ）改修を要する施設一覧表

（第５表－５）

事業名	項目 / 施設名		施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
区画整理	自然	排水路	全体	12.3	土水路	L=1,296m	－	区画整理	
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計		－	12.3					
合計			－	12.3					

（３）　排水に関する被害状況

該当なし　　（第５表-６）

事業名	項目／系統名	排水面積(ha)	降水量(mm)		湛水状況 湛水深(cm)	湛水時間(hr)	湛水面積(ha)	湛水量(千m³)	乾湿状況(ha) 田 乾	田 湿	畑 乾	畑 湿	その他 乾	その他 湿	平均減産量(t)	平均維持管理費(千円)	備考
			平　均														
			基準年														
			平　均														
			基準年														
			平　均														
			基準年														
			平　均														
			基準年														
	計		平　均														
			基準年														
合　計			平　均														

３．河 川 状 況

（１）　河川の現況

該当なし　　（第５表-７）

項目 河川名	流路状況	勾　　配	断　　面	安全洪水量 (m³/s)	既往最大洪水量 (m³/s)	備　　考

（２）洪水に関する被害状況

該当なし　　（第５表-８）

項目 区分	農　用　地 （千円）	農　用　施　設 （千円）	作　　物 （千円）	公　共　施　設 （千円）	備　　考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第４節　道路概況

１．道路概況

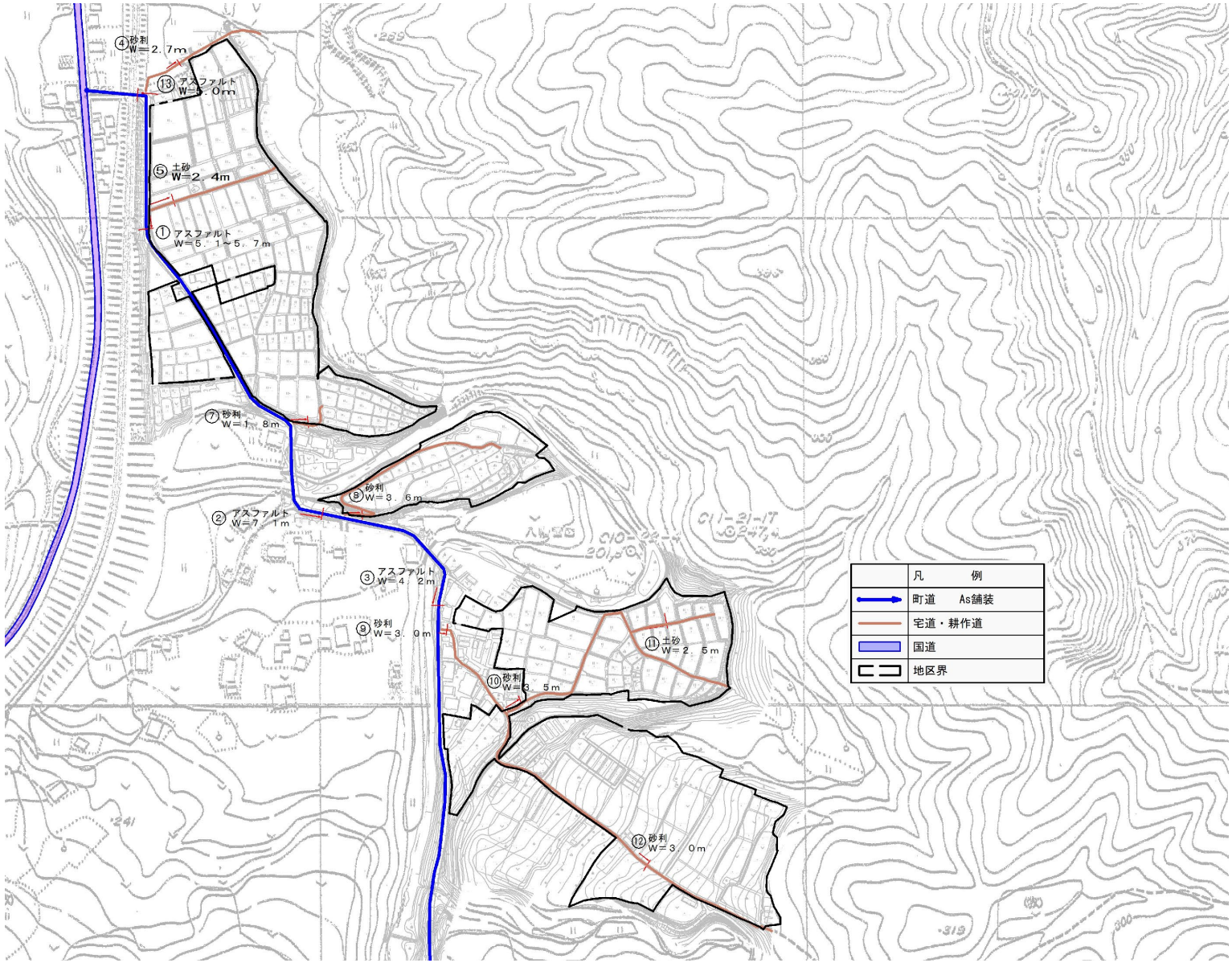
本地区は、地区内に伸びる一級町道平糠線が南北方向に走っており、この道路が本地区の生活道路及び基幹道路となっている。

ほ場内にある耕作道は、砂利、又は土砂道で幅員も２ｍ程度と狭く、路面が軟弱な箇所も見受けられる等、農作業機械の通行や農作物の円滑な搬出に支障をきたしている状況である。

２．主要道路一覧表

No.	路　線　名	管理区分別	延　長（m）	幅　員（m）		構　造	改修の要否	備　考（道路番号）
				全　幅	有　効			
1	1級町道 平糠線	町	393	5.1～5.7		AS	否	
2	1級町道 平糠線	〃		7.1		AS	否	
3	1級町道 平糠線	〃		4.2		AS	否	
4	耕作道 —	〃		2.7		砂利	否	
5	耕作道 —	〃	137	2.4		砂利	要	
7	耕作道 —	〃	21	1.8		AS	一部要	
8	耕作道 —	〃	248	3.6		砂利	要	
9	耕作道 —	〃		3.0		砂利	否	
10	耕作道 —	〃	317	3.5		砂利	要	
11	耕作道 —	〃	86	2.5		土砂	要	
12	耕作道 —	〃	368	3.0		砂利	要	
13	1級町道 平糠線	〃		5.0		AS	否	

現況道路位置図


④ 砂利 W＝2．7m
⑬ アスファルト W＝5．0m
⑤ 土砂 W＝2．4m
① アスファルト W＝5．1～5．7m
⑦ 砂利 W＝1．8m
⑧ 砂利 W＝3．6m
② アスファルト W＝7．1m
③ アスファルト W＝4．2m
⑨ 砂利 W＝3．0m
⑪ 土砂 W＝2．5m
⑩ 砂利 W＝3．5m
⑫ 砂利 W＝3．0m
凡　例
町道　As舗装
宅道・耕作道
国道
地区界

第５節　地域農業の概況

１．産業別就業人口

（岩手県統計年鑑（令和２年国勢調査））（第７表－１）

項目 市町村名	総数 （人）	農業 （人）	林業 （人）	漁業 （人）	鉱業 （人）	建設業 （人）	製造業 （人）	電気ガス熱供給水道業 （人）	運輸通信業 （人）	卸売小売業飲食店 （人）	金融保険業 （人）	不動産業 （人）	サービス業 （人）	公務 （人）	その他 （人）	備考
一戸町	5,725	1,090	60	1	2	558	874	16	236	690	50	28	759	233	1,128	
計	5,725	1,090	60	1	2	558	874	16	236	690	50	28	759	233	1,128	
比率（%）	100%	19%	1%			10%	15%		4%	12%	1%	1%	13%	4%	20%	

２．経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

（2020農林業センサス）　　（第７表－２）

区分 / 市町村名	農家総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸)											一戸当たり平均農用地面積 (ha)						耕地の分散状況		専兼業別農家数 (戸)			備考
		経営耕地なし	～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0 ha以上		自給的農家	田	畑	樹園地	小計	その他	計	一戸当たり団地数	団地当たり面積 (ha)	専業	兼業 第一種	兼業 第二種	
一戸町	926	－	－	－	－	－	－	－	－	－		392	0.49	1.86	0.03	2.38	1.06	3.44	－	－	－	－	－	
計	926	－	－	－	－	－	－	－	－	－		392	0.49	1.86	0.03	2.38	1.06	3.44	－	－	－	－	－	
比率	100%	－	－	－	－	－	－	－	－	－		42%	14%	54%	1%	69%	31%	100%	－	－	－	－	－	

３．動力農機具及び主要家畜頭数

（2020農林業センサス）　　（第７表－３）

項目 / 市町村名	動力農機具								主要家畜						備考
	耕うん機及びﾄﾗｸﾀｰ		動力防除機		動力田植機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		
	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（経営体）	数量（頭）	戸数（経営体）	数量（頭）	戸数（経営体）	
一戸町	－	－	－	－	－	－	－	－	4,231	42	x	57	21,936	3	
計	－	－	－	－	－	－	－	－	4,231	42	x	57	21,936	3	
100戸当たり数量（台、頭）	－		－		－		－		457		－		2369		農家戸数926戸
利用戸数割合（%）			－						5%		6%		0%		

４．主要作物作付状況

（2020農林業センサス）　　（第７表－４）

市町村名			一戸町				計	平均		
総耕地面積(ha)			3,560				3,560			
区分 / 作物名			作付面積(ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)	作付面積(ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)	作付面積(ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)	作付率(%)	備考
田	表作	水稲	240	513			240	513	13	
		豆類(大豆)	15	131			15	131	1	
		麦類(小麦)	－	－			－	－	－	
		その他	5	－			5	－	－	
	裏作		－	－			－	－	－	
	小計		260				260		14	
普通畑	春夏作	野菜類	374	－			374	－	20	
		雑穀	8	－			8	－	－	
		いも類	1	－			1	－	－	
		花き類・花木	x	－			x	－	－	
		その他	1,175	－			1,175	－	64	
	計		1,558				1,558		85	
樹園地	果樹類		17	－			17	－	1	
	小計		17				17		1	
計			1,835				1,835		100	
市町村別延べ作付率(%)			52				52			

５．農業の動向

（2010,2015,2020農林業センサス）　　（第７表－５）

項目 / 区分	農家			土地			主要作物			主要家畜			動力農機具			その他	地域指定等	備考
		B (H27)	A (R2)		B (H27)	A (R2)	作物名	B (H27)	A (R2)	家畜名	B (H27)	A (R2)	農機具名	B (H27)	A (R2)			
変化の状況（C年を100とする指数）	総農家数	85	63	耕地	90	85	水稲	－	89	乳用牛	69	63	耕耘機 ﾄﾗｸﾀｰ	80	－		農振 S48	
	専業農家数	96	－	田	82	65	雑穀	44	32	肉用牛	76	60	動力田植機	70	－		野菜指定 S48	A:令和２年 (2020)
	第1種兼業農家数	64	－	畑	91	109	豆類	37	18	豚	200	150	ｺﾝﾊﾞｲﾝ	92	－		農業経営 H17	
	第2種兼業農家数	70	－	樹園地	86	58	麦類	－	－	採卵鶏	50	－					広域営農 S52	B:平成27年 (2015)
	農業従事者数	71	48	草地	92	69	野菜類	－	27								酪農肉用牛 H17	
							花類		－									C:平成22年 (2010)
変化の理由	人口減少、農業従事者の高齢化に伴い、農家数及び農業従事者数が減少している。			農地転用改廃が進み耕地面積は減少傾向にある。			人口減少、農業従事者の高齢化による農家数及び農業従事者数の減少により、全体的に減少傾向にある。			人口減少、農業従事者の高齢化による農家数及び農業従事者数の減少により、畜産経営体数が減少している。			－					

第６節　地域環境の概況

本地区は、地区内を縫うように一級河川平糠川が流れており、河川沿いに農地、山林が広がっている。
地区内の環境調査を行ったところ、「環境省レッドリスト」及び「いわてレッドデータブック」に登載されている希少種に該当する動植物の確認は見られず、田園環境整備マスタープランにおいて「環境配慮区域」に該当していない地区である。

第４章　一　般　計　画

第１節　事業計画の要旨

１．要　　旨

本地区は、区画が10a程度の未整備不整形の湿田であるうえ、農道の幅員もほとんどが２ｍ程度と狭小で、大型機械の通行が困難であることから、効率的な営農の展開が不可能な状態となっている。また、地区内の小用排水路のほとんどが土水路となっており、維持管理に多大な労力を費やしている。

このため本事業では、標準区画50aのほ場を整備する。また、農道はＬ＝2.8kmを敷砂利舗装に、用水路はＬ＝1.6kmをパイプラインにて整備、L=0.1kmをベンチフリュームにて整備する。排水路はＬ＝1.5kmを鉄筋コンクリート二次製品にて整備するとともに、暗渠排水Ａ＝5.4haを併せ行い乾田化を図る。

これらの整備により、営農及び維持管理等の省力化を図ると共に、担い手への農地集積を一体的に推進して、農業経営の安定化を図るものである。

２．事業別面積

（第８表）

事業名	区画整理																		計	備　考
土地利用区分 / 事業目的	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	(ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	(ha)	小計 (ha)	(ha)	
区画整理	7.0	3.6	－	－	2.3	12.9													12.9	
計	7.0	3.6	－	－	2.3	12.9													12.9	

第２節　営農計画及び土地利用計画

１．営農計画の概要

本事業により農地の集団化、ほ場の汎用化及び大型機械の導入を目指した土地基盤の整備を実施し、土地の高度利用と農業の近代化を図る。
また、担い手への集積拡大を図り、水稲(主食用米)を中心に、りんどう、トマト、キャベツ、茅の栽培を行い農業経営の安定化を図る。

２．土地利用区分

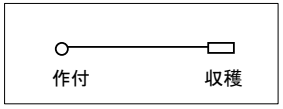
（第９表－１）

事業名	土地利用区分 / 区分	水　田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶　園 (ha)	その他 (ha)	小　計 (ha)	原　野 (ha)	山　林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
区画整理	現　況	8.7	3.6	－	－	－	－	12.3	0.1	－	0.5	12.9	
	計　画	7.0	3.6	－	－	－	－	10.6	－	－	2.3	12.9	
	現　況												
	計　画												
計	現　況	8.7	3.6	－	－	－	－	12.3	0.1	－	0.5	12.9	
	計　画	7.0	3.6	－	－	－	－	10.6	－	－	2.3	12.9	

３．作付方式

（第９表－２）

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目	2年目	3年目	4年目	備考
区画整理	現況	水稲＋野菜＋花卉	田	水稲（主食用米） りんどう トマト WCS用稲	水稲（主食用米） りんどう トマト WCS用稲	水稲（主食用米） りんどう トマト WCS用稲	水稲（主食用米） りんどう トマト WCS用稲	
		野菜	畑	茅	茅	茅	茅	
	計画	水稲＋野菜＋花卉	田	水稲（主食用米） りんどう トマト	水稲（主食用米） りんどう トマト	水稲（主食用米） りんどう トマト	水稲（主食用米） りんどう トマト	
		野菜	畑	トマト キャベツ 茅	トマト キャベツ 茅	トマト キャベツ 茅	トマト キャベツ 茅	



４．生産計画

（現況本地率　水田:93.4%　畑:88.9%）
（計画本地率　水田:92.5%　畑:83.3%）

（第９表－３）

事業名	項目／土地利用区分		作物名	作付面積（ha）			作付率（%）		単位面積当たり収穫量(kg/10a)			生産量（t）			同左生産量増減の内訳（t）		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり	
区画整理	水田	表作	主食用米	6.6	6.0	△ 0.6	56.9	61.3	503	533	30	33.2	32.0	△ 1.2	△ 3.0	1.8	
			りんどう	0.3	0.6	0.3	2.6	6.1	21,141	21,141	－	63.4	126.9	63.5	63.4	0	本/10a, 千本
			トマト	0.1	0.2	0.1	0.9	2.0	6,453	7,808	1,355	6.5	15.7	9.2	7.8	1.4	
			WCS	0.7	－	△ 0.7	6.0	－	2,400	2,400	－	16.8	－	△ 16.8	△ 16.8	－	
			自己保全管理	0.7	－	△ 0.7	6.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	小　計			8.4	6.8	△ 1.6	72.4	69.4									
	普通畑	春夏秋作	トマト	－	0.4	0.4	－	4.1	6,453	6,453	－	－	25.8	25.8	25.8	－	
			キャベツ	－	1.5	1.5	－	15.3	3,394	3,394	－	－	－	－	50.9	－	
			茅	0.2	1.1	0.9	1.7	11.2	70	70	－	0.1	0.8	0.7	0.6	－	束/10a, 千束
			自己保全管理	3.0	－	△ 3.0	25.9		－	－	－					－	
	小　計			3.2	3.0	△ 0.2	27.6	30.6									
合　計				11.6	9.8	△ 1.8	100.0	100.0									

※作付面積は本地面積で整理

５．労働改善計画

（計画本地率　水田:91.7%）　　（第９表－４）

事業名	項目／土地利用区分	作物名	作付面積(ha)	単位面積当たり労働投下量（hr/10a） 区分	現況	計画	増減	備考
区画整理	水田	水稲（担い手）	5.2	人力	33.5	12.8	△ 20.7	小区画湿田 → 中区画乾田(NO.1-2)
				機械力	31.1	18.6	△ 12.5	
		水稲（個人）	0.5	人力	33.5	25.8	△ 7.7	小区画湿田 → 中区画乾田(NO.1-1)
				機械力	31.1	21.1	△ 9.9	
		りんどう	0.6	人力	665.7	278.4	△ 387.3	小区画湿田 → 大区画乾田(NO.79)
				機械力	31.6	33.9	2.3	
		トマト	0.4	人力	765.9	763.5	△ 2.4	小区画湿田 → 大区画乾田(NO.31)
				機械力	47.3	46.2	△ 1.1	
		キャベツ	1.5	人力	28.9	25.7	△ 3.2	小区画湿田 → 大区画乾田(NO.41)
				機械力	16.7	14.9	△ 1.7	
	計		8.2					
合計			8.2					

６．　級地別土地利用区分

該当なし　　（第９表−５）

区分 級地名 / 土地利用区分		農用地造成（ha）					干拓（ha）					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	（普通畑）											
	（牧草地）											
	樹園地											
	（果樹園）											
	（桑園）											
その他												
計												

７．　土地配分計画

該当なし　　（第９表−６）

項目 区分	配分戸数（戸）	地目別配分計画（ha）								備考
		田	輪換耕地	畑					計	
				普通畑	牧草地	樹園地				
増反		（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	
入植		（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	

第３節　用水計画

１．計画基準年

平成27年

かんがい期有効雨量、かんがい期総旱天日数、かんがい期連続旱天日数ともに1/10年確率年に近い平成27年を計画基準年とした。

２．計画かんがい方式

水田(水稲)　湛水かんがい方式

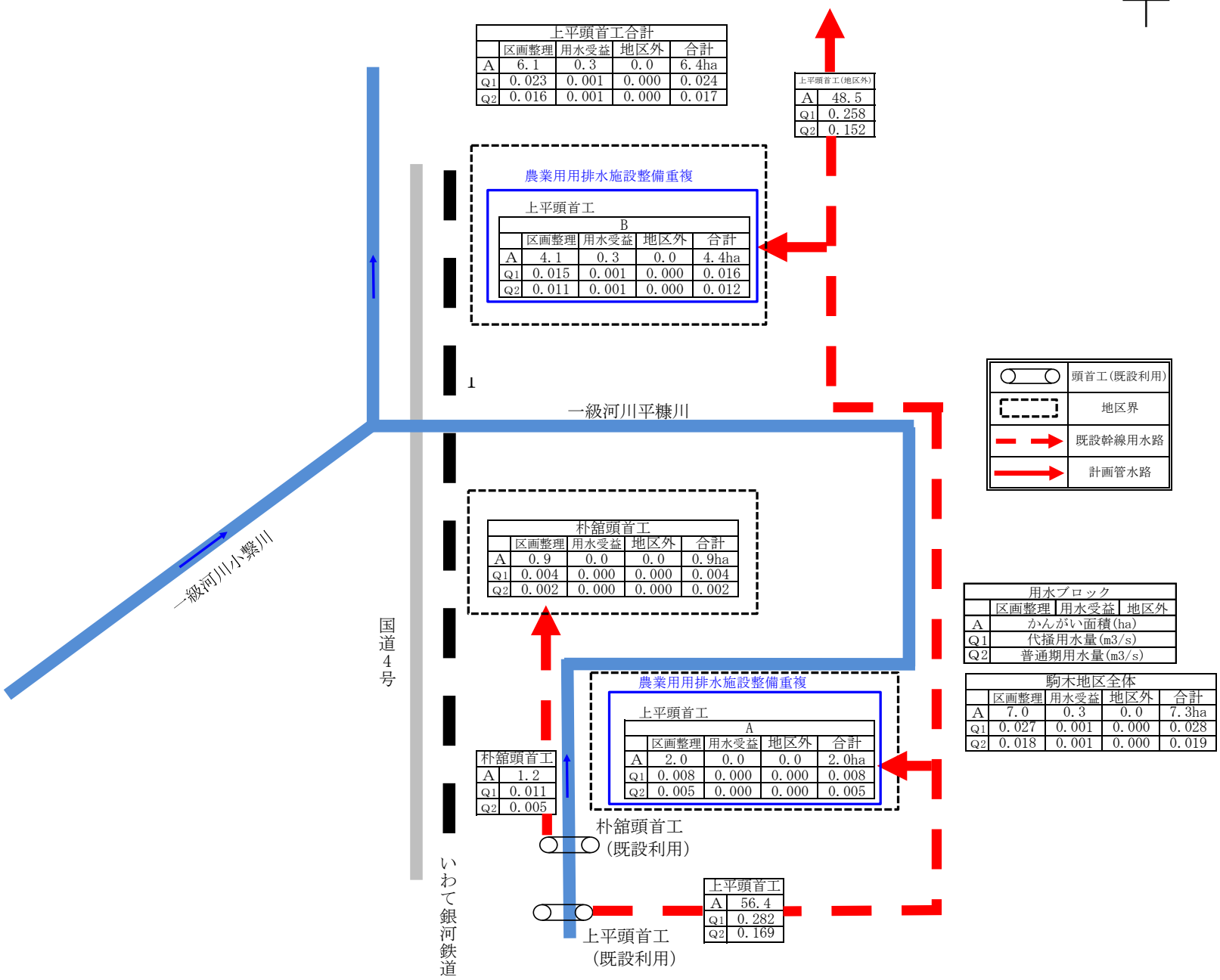
かんがい期間　５月１日～９月10日　123日間

（　代掻き期間　５月１日～５月10日　10日間　）

３．計画用水系統

次頁参照

駒木地区　計画用水系統図（オール水田）



４．計画用水量

(1)　かんがい用水

（第１０表－１－１）

項目 / 系統名	種別	面積(ha) 事業名 区画整理	地区外	計	水田かんがい 普通期 計画平均単位用水量(mm/日)	代かき期 計画単位代かき用水量(mm)	面積(ha)	畑利用戻り水田かんがい 普通期 計画平均単位用水量(mm/日)	代かき期 計画単位代かき用水量(mm)	面積(ha)	畑地かんがい 一日当たり計画平均かん水深(mm/日)	平均間断日数(日)	面積(ha)	その他 計画平均単位用水量(mm/日)	面積(ha)	消費水量(m3/s)	損失率(%)	粗用水量 平均(m3/s)	最大(m3/s)	備考
上平頭首工	農業用水	6.1	0.3	6.4	20	130	6.4	－	－	－	－	－	－	－	－	0.022	10	0.017	0.024	
朴舘頭首工	農業用水	0.9	－	0.9	20	130	0.9	－	－	－	－	－	－	－	－	0.003	15	0.002	0.004	
計		7.0	0.3	7.3			7.3									0.025		0.019	0.028	

（２）　営 農 飲 雑 用 水

該当なし　　（第１０表-１-２）

区分	利用目的	対象面積（ha）			日当たり給水量		補給回数	関係戸数	備考
		事業名			単位給水量	最大給水量			
				計	（リットル/日）	（リットル/日）	（回）	（戸）	

５．水源計画

(1)　水利用計画

有効雨量　　水田(水稲)：5㎜/日～80㎜/日の80％
　　(畑利用)：－
TRAM　　水田(畑利用)：－㎜
間断日数　　水田(畑利用)：－日

かんがい効率　水田(水稲)：90％,85％
　　水田(畑利用)：－％

（第１０表－２）

区分	項目	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
						水源名	取水地点利用可能量	ほ場利用可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量		
		a (千m³)	b (千m³)	c=a-b (千m³)	d=c/(1-α) (千m³)		e (千m³)	f (千m³)	g=c-f (千m³)	h=d-e (千m³)		(千m³)		損失率：α
区画整理	上平頭首工	181		181	201	一級河川平糠川	201	181	－	－	上平頭首工	181	自然取水	0.10
	朴舘頭首工	21		21	25	一級河川平糠川	25	21	－	－	朴舘頭首工	21	自然取水	0.15
	計	202		202	226		226	202	－	－		202		

（２）用水対策

（ア）　貯　水　池　　該当なし

（第１０表－３）

項目 / 貯水池名	流域面積（km²）		かんがい面積（ha）			純貯水量	有効貯水量	利用貯水量	利用回数	最大取水量	備考
	直接	間接	事業名								
			地区内	地区外	計	（千m³）	（千m³）	（千m³）	（回）	（m³／s）	

（イ）井堰及び自然取入口　該当なし

（第１０表－４）

項目 / 取水施設名	河川名	流域面積（km²）	かんがい面積（ha）			取水量（m³/s）		渇水量（m³/s）	備考
			事業名			最大	平均		
			区画整理	地区外	計				

（ウ）　揚　水　機　　該当なし

（第１０表－５）

項目 / 名称	水源名	かんがい面積（ha）			所要水量（m³/s）		揚水機				備考
		事業名					実揚程（m）	揚水量（m³/s）	台数（台）	全揚水量（m³/s）	
		区画整理		計	最大	平均					

（エ）用　水　路

（第１０表－６）

項目 / 名称	かんがい面積（ha） 事業名 区画整理	（地区外）	計	最大通水量 (m^3/s)	延長 (m)	構造	備考
管水路工	6.1	0.3	6.4	0.024	1,597	VU100～VU250	
開水路工	0.9	－	0.9	0.004	114	BF300型	
計	7.0	0.3	7.3		1,711		

（オ）その他の水源施設　　該当なし

（３）　水質水温　　該当なし

第４節　排水計画

１．計画基準雨量

（岩手県農林水産部農村計画課　計画樹立参考資料　令和６年３月版　　奥中山地方気象観測所

最大２４時間雨量	127.0 mm （1／10年）	82.5 mm （1/2年）
最大　４時間雨量	65.1 mm （1／10年）	43.3 mm （1/2年）
最大　１時間雨量	34.6 mm （1／10年）	21.7 mm （1/2年）

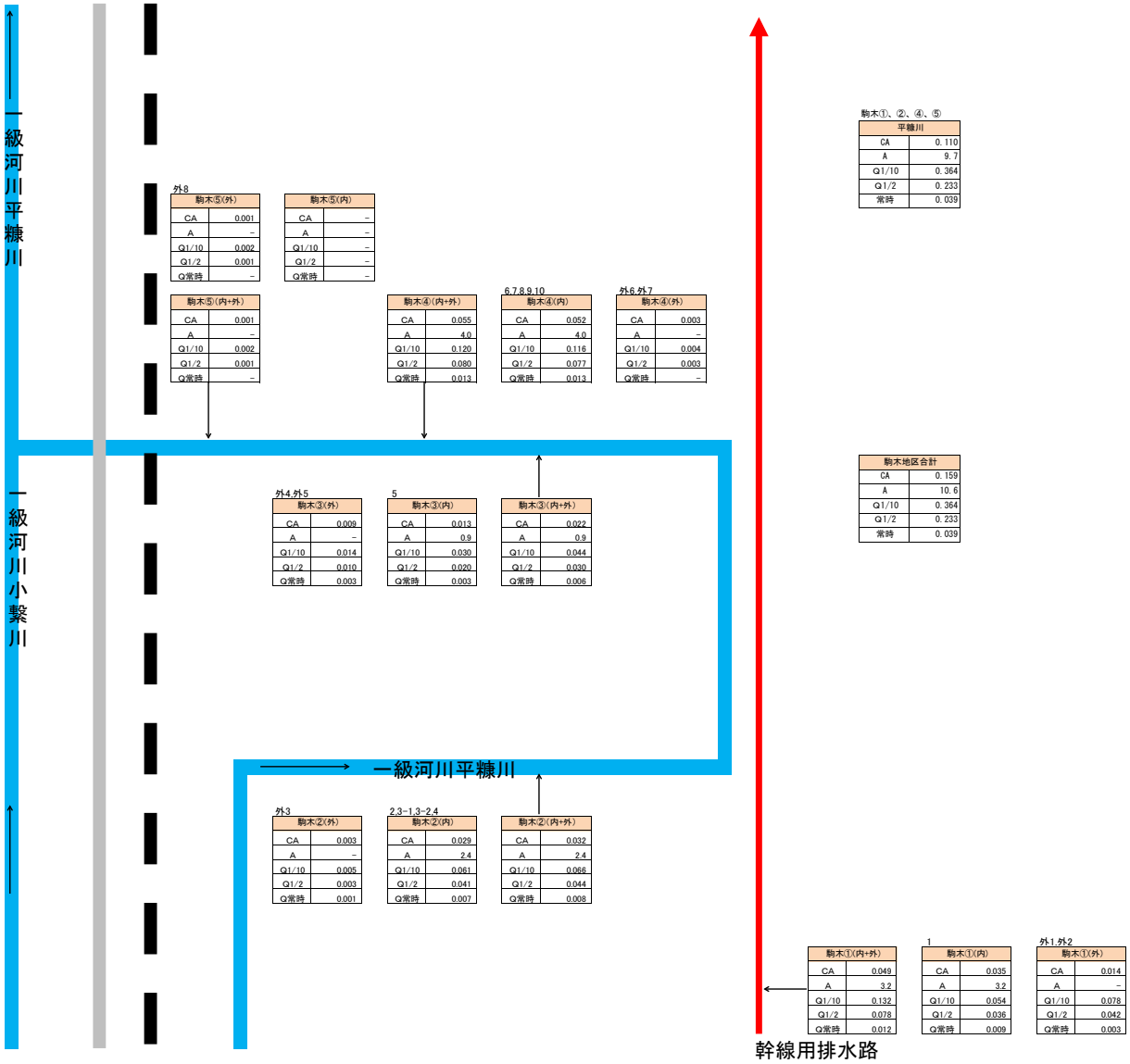
２．計画排水方式

自然流下排水

３．計画排水系統

次頁参照

駒木地区　計画排水系統模式図



駒木①、②、④、⑤

平糠川	
CA	0.110
A	9.7
Q1/10	0.364
Q1/2	0.233
常時	0.039

外8

駒木⑤(外)	
CA	0.001
A	–
Q1/10	0.002
Q1/2	0.001
Q常時	–

駒木⑤(内)	
CA	–
A	–
Q1/10	–
Q1/2	–
Q常時	–

駒木⑤(内+外)	
CA	0.001
A	–
Q1/10	0.002
Q1/2	0.001
Q常時	–

駒木④(内+外)	
CA	0.055
A	4.0
Q1/10	0.120
Q1/2	0.080
Q常時	0.013

6,7,8,9,10

駒木④(内)	
CA	0.052
A	4.0
Q1/10	0.116
Q1/2	0.077
Q常時	0.013

外6,外7

駒木④(外)	
CA	0.003
A	–
Q1/10	0.004
Q1/2	0.003
Q常時	–

駒木地区合計	
CA	0.159
A	10.6
Q1/10	0.364
Q1/2	0.233
常時	0.039

外4,外5

駒木③(外)	
CA	0.009
A	–
Q1/10	0.014
Q1/2	0.010
Q常時	0.003

5

駒木③(内)	
CA	0.013
A	0.9
Q1/10	0.030
Q1/2	0.020
Q常時	0.003

駒木③(内+外)	
CA	0.022
A	0.9
Q1/10	0.044
Q1/2	0.030
Q常時	0.006

外3

駒木②(外)	
CA	0.003
A	–
Q1/10	0.005
Q1/2	0.003
Q常時	0.001

2,3-1,3-2,4

駒木②(内)	
CA	0.029
A	2.4
Q1/10	0.061
Q1/2	0.041
Q常時	0.007

駒木②(内+外)	
CA	0.032
A	2.4
Q1/10	0.066
Q1/2	0.044
Q常時	0.008

駒木①(内+外)	
CA	0.049
A	3.2
Q1/10	0.132
Q1/2	0.078
Q常時	0.012

1

駒木①(内)	
CA	0.035
A	3.2
Q1/10	0.054
Q1/2	0.036
Q常時	0.009

外1,外2

駒木①(外)	
CA	0.014
A	–
Q1/10	0.078
Q1/2	0.042
Q常時	0.003

４．計画排水量

（第１１表－１）

項目 / 排水系統名	受益面積（ha） 事業名 区画整理		計	流域面積（km²） 山地	平地	基準雨量（mm）	降雨による直接単位流出量（m³/s/km²） 山地	平地	基底流出量（m³/s/km²） 山地	平地	全排水量（m³/s） 山地	平地 自然排水	機械排水	単位排水量（m³/s/km²） 山地	平地	備考
平糠川	10.6		10.6	－	0.159	65.1 mm/s	1/10確率 1.582 5.605	1/10確率 1.356～ 8.096	－	0.25	－	0.364	－	1/10確率 1.582 5.605	1/10確率 1.356～ 8.096	
計	10.6		10.6	－	0.159	－	－	－	－	－	－	0.364	－	－	－	

５．排水対策

（１）排水水門　該当なし

（第１１表-２）

項目 名称	流域面積 (km²)	受益面積(ha) 事業名			計画 排水量 (m³/s)	計画 地区内たん水深 (m)	排水本川 名称	排水本川 計画洪水量 (m³/s)	排水本川 計画洪水位 (m)	備考
				計						

（２）排水機　　該当なし

（第１１表-３）

項目 名称	流域面積 (km²)	受益面積(ha) 事業名			計画 排水量 (m³/s)	計画 地区内たん水深 (m)	排水機 実揚程 (m)	排水機 排水量 (m³/s)	排水機 台数 (台)	排水機 全排水量 (m3/s)	備考
				計							

(3)　排水路

（第１１表－４）

項目 / 名称	流域面積 (km^2)	受益面積 (ha) 事業名 区画整理		計	計画排水量 (m^3/s)	延長 (m)	構造	排水本川 名称	計画洪水量 (m^3/s)	計画洪水位 (m)	備考
小排水路	0.159	10.6		10.6	0.364	1,451	HF300×300	平糠川	－	－	
計	0.159	10.6		10.6	0.364	1,451					

(4)　その他　　該当なし

６．湛水検討　　該当なし

第５節　道路計画

１．道路及び索道

（１）道路

（第１２表－１）

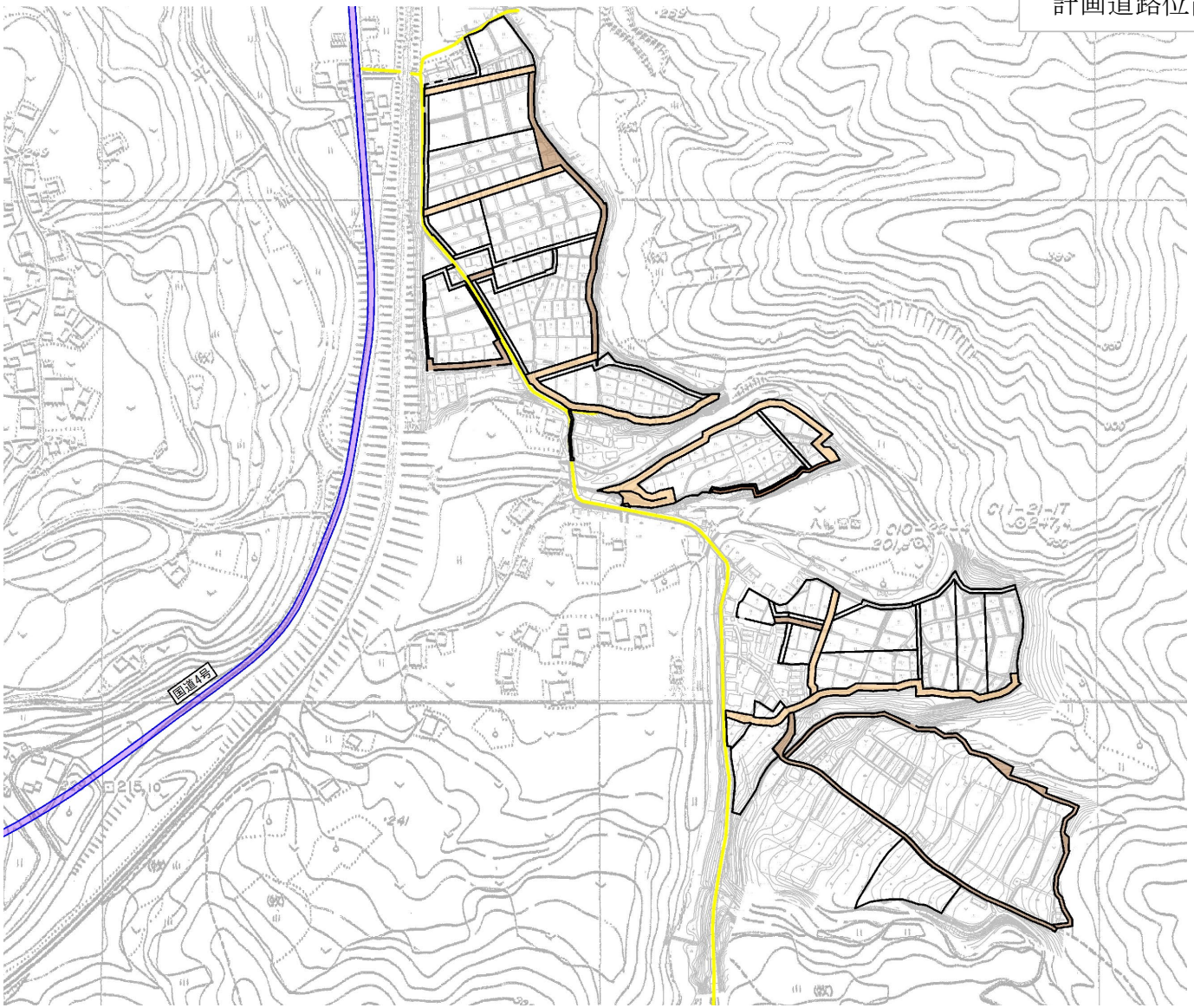
項　目 路線名	幅(有効)×延長 (m)　　(m)	構　　造	既設道路との関係	備　　考
支線道路(A)	5.0(4.0)×1,349	敷砂利工（t=0.10m）	改修	
支線道路(B)	4.0(3.0)×1,344	敷砂利工（t=0.10m）	〃	
管理用道路	3.0(2.0)×140	敷砂利工（t=0.10m）	〃	
計	2,833			

（２）索道　　該当なし

２．路線配置図

別紙のとおり

計画道路位置図



第６節　農用地造成計画

１．農用地造成計画

(1)農地造成計画

該当なし　　（第１３表-１）

項目 地区名	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備　　考

(2)末端道排水路配置計画　　該当なし

２．土壌改良

該当なし　　（第１３表-２）

項目 区分	面　積 (ha)	土壌統 (区)名	ＰＨ		置換酸度 (Y_1)	りん酸吸収係数 (mg/100g)	ha当たり所要量（t/ha）			備　　考
			H_2O	KGl			石炭	りん酸質資材	有機質資材	

第７節　洪水調節計画

１．計画基準雨量　該当なし

２．計画洪水量及び調節量

該当なし　（第１４表-１）

地　　点	流域面積 (km²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m³/s)	安全洪水量 (m³/s)	必要調節量 (m³/s)	ピーク時調節量 (m³/s)	調節後最大流量 (m³/s)	調節前後の最大流量の差 (m³/s)	最大調節量 (m³/s)

３．貯水池

該当なし　（第１４表-２）

項目／貯水地名	流域面積（km²）		計画洪水量 (m³/s)	貯水量（千m³）			計画調節流量 (m³/s)	可能調節流量 (m³/s)	備　考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			

４．洪水調節検討

（１）河川改修計画との関係　　該当なし

（２）洪水調節が下流に及ぼす影響　　該当なし

（３）計画基準雨量以外についての検討　　該当なし

５．管理計画

（１）管理機構　　該当なし

（２）ダム管理操作上の各種基準　　該当なし

（３）洪水調節要領　　該当なし

第８節　干拓計画

該当なし

（第１５表）

項目 名称	延長 （m）	計画高潮(水)位 （ＩＰm）	風向及び対岸距離 (km)	風　速 (m/s)	気　圧 (mb)	備　　考

第９節　農用地整備計画

１．区画整理

(1)　区画の形状

（第１６表－１）

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割　　合 (%)	田　面　差 (m)	備　　考
145　×　35	0.5	3.4	32	1.5	
100　×　30	0.3	2.3	22	1.4	
その他	－	1.3	12	1.8	
畑	－	3.6	34	0.2	
計		10.6			

(2)　表土扱い

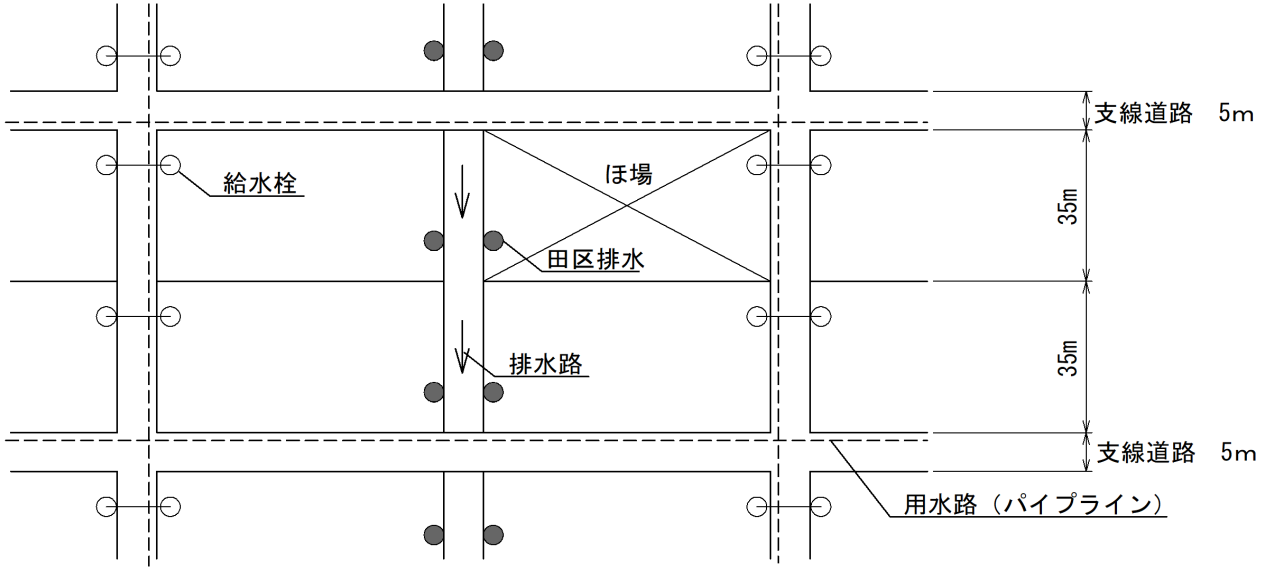
（第１６表－２）

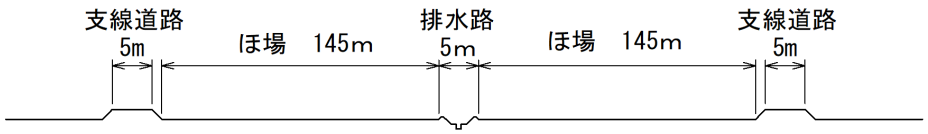
面　　積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土　　量 (m^3)	備　　考
10.6	地力の保持	15～20	17,700	田15cm、畑20cm

(3)　末端道水路配置図

別紙のとおり

末端道水路配置図


支線道路　5m
給水栓
ほ場
田区排水
35m
35m
排水路
支線道路　5m
用水路（パイプライン）


支線道路
5m
ほ場　145m
排水路
5m
ほ場　145m
支線道路
5m

２．暗渠排水

(1) 暗渠排水

（第１６表-３-１）

項目 区分	面　積　(ha) 事　業　名 区画整理		計	土壌統（区）名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (L/s/ha)	計画後の地下水位 (m)	集水渠出口以下の排水方法	備　考
暗渠排水	5.4		5.4	黒色土壌粘土火山腐植型	50	5.79	0.4	自然排水	H70
計	5.4		5.4						

(2) 心土破砕　　該当なし

（第１６表-３-２）

項目 区分	面　積　(ha) 事　業　名			土壌統（区）名	土壌硬度 (mm/日)	備　考
計						

３．客土　　該当なし

（第１６表-４）

項目 区分	面積（ha） 事業名 区画整理	事業名	事業名 計	土壌統（区）名	減水深(mm/日) 現況平均	減水深(mm/日) 計画平均	作土の厚さ(cm) 現況平均	作土の厚さ(cm) 計画平均	10a当たり客土量(m³)	土壌の性質 受益地(%)	土壌の性質 採土地(客土材料)(%)	備考
計												

４．農地保全

（１）防災林　　該当なし

（第１６表-５-１）

項目 区分	最大風速 （m/ｓ）	幅 （m）	間隔 （m）	備考

（２）排水工　　該当なし

（第１６表-５-２）

項目 区分	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量 単位排水量 (m³/s/ha)	排水量 全排水量 (m³/s)	備考

（３）侵食（崩壊）防止工

該当なし　　（第１６表-５-３）

区分＼項目	位　　置	支配面積（ha）	機　　能	備　　考
計				

第１０節　老朽ため池改修計画

１．洪水吐改修計画　　該当なし

（１）計画基準雨量　　該当なし

（２）計画洪水量　　該当なし

２．堤体補強計画　　該当なし

３．取水施設改修計画　　該当なし

第 5 章　　主 要 工 事 計 画

第１節　用水施設

１．貯水池　該当なし

（第１７表-１）

<table>
<tr><td>名　称</td><td colspan="3"></td><td>位　置</td><td colspan="6"></td><td rowspan="3">備　　考</td></tr>
<tr><td rowspan="2">堤　　体</td><td rowspan="2">形　　式</td><td colspan="2">流域面積(km²)</td><td rowspan="2">堤　高
(m)</td><td rowspan="2">堤 長
(m)</td><td rowspan="2">堤 体 質
(千m³)</td><td rowspan="2">基盤地盤地質</td><td colspan="2">貯　水　量　(千m³)</td></tr>
<tr><td>直　　接</td><td>間　　接</td><td>総貯水量</td><td>有効貯水量</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">洪 水 吐</td><td rowspan="2">形　　式</td><td rowspan="2">排 水 量
(m³/s)</td><td rowspan="2">備　考</td><td rowspan="2">取水施設</td><td rowspan="2">形　　式</td><td rowspan="2">取 水 量
(m³/s)</td><td rowspan="2">放流施設</td><td rowspan="2">形　式</td><td rowspan="2">放 流 量
(m³/s)</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

２．頭首工　該当なし

（第１７表-２）

名　称				位　置				備　考
形　式	堤　高（m）	堤　長（m）			取　水　位（m）	取　水　量（m³/s）	付帯施設	
		固定部	可動部	計				

３．揚水機　該当なし

（第１７表-３）

項目／名称	位　置	揚水量（m³/s）	揚　程(m)		揚　水　機			原　動　機			備考
			実揚程（ｍ）	全揚程（ｍ）	形　式	口　径（mm）	台　数（台）	形　式	動　力	台　数（台）	

４．用　水　路

（第１７表－４）

項目 / 水路名	かんがい面積 (ha) 事業名 区画整理	地区外	計	通水量 (m^3/s)	延長 (m) 開渠	トンネルその他	計	構造	勾配	主要構造物	備考
管水路工	6.1	0.3	6.4	0.024	-	1,597	1,597	VU100～250	―	取水工２個所	
開水路工	0.9	-	0.9	0.004	114	-	114	BF300型	1/500		
計	7.0	0.3	7.3	0.028	114	1,597	1,711				

５．その他かんがい施設

該当なし

（第１７表-５）

項目 / 水路名	構造	規模	数量	備考

第２節　排水施設

１．　排 水 水 門　　該当なし

（第１８表-１）

項目 名称	位　置	形　　式	構　　造	内 水 位 （m）	外 水 位 （m）	排 水 量 （㎥/s）	備　　考
計							

２．排　水　機　　該当なし

（第１８表-２）

項目 名称	位　置	排　水　量 （㎥/s）	揚　　程		排　　水　　機			原　　動　　機			備　考
			実 揚 程 （m）	全 揚 程 （m）	形　式	口　径 （m）	台　数 （台）	形　式	動　力	台　数 （台）	
計											

３．排　水　路

（第１８表－３）

項目 / 水路名	受益面積 (ha) 事業名 区画整理		計	排水量 (m^3/s)	延長 (km) 開水路	トンネルその他	計	構造	勾配	主要構造物	備考
排水路工	10.6		10.6	0.001～0.121	1.316	0.135	1.451	HF300×300	1/130～1/500	横断暗渠工 水槽工 河川放流工	
計	10.6		10.6		1.316	0.135	1.451				

４．その他排水施設　該当なし

第３節　道路及び索道

１．道　　路

(1)　道路の総括表

（第１９表－１）

項目 区分	路線名	幅（有効）×延長 （m）　　（km）	構造	付帯構造物			最急勾配 （%）	同左の延長 （m）	最小曲線半径 （m）	備考
				名称	構造	数量 （箇所）				
支線道路(A)	－	5.0(4.0)×1.349	砂利道	町道取付	As舗装	5	－	25	－	
支線道路(B)	－	4.0(3.0)×1.344	砂利道	町道取付	As舗装	2	－	10	－	
管理用道路	－	4.0(3.0)×0.140	－	－	－	－	－	－	－	
計		2.833				7		35		

(2)　道路主要構造物　　該当なし

２．索　　道　　該当なし

第４節　農用地造成

１．農用地造成

該当なし

（１）抜　根

該当なし

（第２０表-１）

項目 区分	樹　　種	樹　　径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面　　積 (ha)	工　　法	備　　考
計						

（２）除　礫

該当なし

（第２０表-２）

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除去礫量 (m^3/ha)	面　　積 (ha)	工　　法	備　　考
計					

（３） 開墾作業

該当なし

（第２０表-３）

区分＼項目		面　積 (ha)	工　法	備　考
地　目	造成方法			
計				

（４） 地目変換　　該当なし　（第２０表-４）
（５） 末端用水路　該当なし　（第２０表-５）
（６） 末端排水路　該当なし　（第２０表-６）

２． 土壌改良

該当なし

（第２０表-７）

区分＼項目	面　積 (ha)	面　積 (ha)	面　積 (ha)	面　積 (ha)	備　考
計					

第５節　洪水調節施設

１．　貯　水　池　　該当なし

２．　頭首工及び導水路　　該当なし

（１）　頭首工　　該当なし

（第２１表-２）

名　　称			位　　置					備　　考
			堤　長　（　m　）			計画洪水位 (m)	付帯施設	
形　　式	集水面積 (km^2)	堤　高 (m)	固定部	可動部	計			

（２）　導水路　　該当なし

（第２１表-３）

項目 / 水　路	通　水　量 (m^3/s)	延　長 (m)			構　造	勾　配	備　考
		総延長	トンネル	その他			

第６節　干拓施設

１．堤防　　該当なし

（第２２表-１）

項目 / 名　称	面　積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m)	施工方法	備　考

２．潮止め　　該当なし

（第２２表-２）

項目 / 名　称	工　法	幅　見 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備　考

３．付属施設　　該当なし

４．埋立　　該当なし

（第２２表-３）

項目 / 名　称	面　積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m)	施工方法 (m)	備　考

第７節　農用地整備施設

１．区画整理

（１）区画整理　　（第２３表-１）

工区名	面積（ha）	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量（m^3）	面積（ha）	土量（m^3）	
駒木	3.4	145 × 35	－	3.4	5,100	
	2.3	100 × 30	－	2.3	3,450	
	1.3	その他	－	1.3	1,950	
	3.6	畑	－	3.6	7,200	
計	10.6			10.6	17,700	

（２）末端用水路等　　（第２３表-２）

項目／区分	数量	規模	構造	備考
用水路工	1,711	VU100～VU250、BF300型	パイプライン、BF	
計	1,711			

（３）末端排水路等　　（第２３表-３）

項目／区分	数量	規模	構造	備考
小排水路	1,451	HF300×300	排水フリューム	
計	1,451			

２．暗渠排水

（１）暗渠排水　　（第２３表-４-１）

項目 / 区分	面積(ha) 事業名 区画整理		計	集水渠 勾配	管種	管径(mm)	延長(m/ha)	吸水渠 勾配	管種	管径(mm)	深さ(m)	間隔(m)	延長(m/ha)	集水渠出口以下の排水施設 名称	構造	数量(m/ha)	備考
自動埋設型暗渠工	5.4		5.4	ﾚﾍﾞﾙ	ポリ管	φ50～65	29	水頭差	ポリ管	φ50～60	0.6	10.0	1,107	小排水路	HF	124.6	
計	5.4		5.4														

（２）心土破砕　該当なし　　（第２３表-４-２）

項目 / 区分	対象土層の厚さ(cm)	ha当たり標準除礫量(m^3/ha)	面積(ha)	工法	備考
計					

３．客　土　該当なし　　（第２３表-５）

項目 / 区分	面積(ha) 事業名 区画整理		計	客入土量(m^3)	土取場土量(m^3)	運搬距離(km)	運搬方法	備考
計								

４．除　礫　該当なし　　（第２３表-６）

項目 / 区分	対象土層の厚さ(cm)	ha当たり標準除礫量(m^3/ha)	面積(ha)	工法	備考
計					

５．農地保全　　該当なし

（１）　防災林　該当なし

（第２３表-７）

項目 区分	幅 （m）	延　長 （m）	面　積 （ha）	樹　種	植 栽 本 数 （本）	備　　考
計						

（２）　排水路　該当なし

（第２３表-８）

項目 区分	延　長 （m）	流　量 （m）	構　　造	備　　考
計				

（３）　侵食防止工　該当なし

（第２３表-９）

項目 名称	構　　造	数　　量	備　　考
計			

第８節　老朽ため池改修施設

１．貯水池　　該当なし

（第２４表）

<table>
<tr><td>名　称</td><td colspan="4"></td><td>位　置</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">堤　体</td><td>形　式</td><td>流　域
（km²）</td><td>堤　高
（m）</td><td>堤　長
（m）</td><td>堤体積
（m³）</td><td>堤頂幅
（m）</td><td>貯水量
（千m³）</td><td>備　　考</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">洪水吐</td><td>形　式</td><td>洪水量
（m³/s）</td><td>規　模
（m）</td><td>備　考</td><td rowspan="2">取水施設</td><td>形　式</td><td>取水量
（m³/s）</td><td>備　　考</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

２．堤体補強施設　　該当なし

（１）のり面保護施設　　該当なし

（２）漏水防止工　　該当なし

第６章　　付　帯　工　事　計　画

該当なし

第７章　　工事の着手及び完了の予定時期

着　手	令和	7	年度
完　了	令和	12	年度

第８章　　環境との調和への配慮

本地区は、地区内を縫うように一級河川平糠川が流れており、河川沿いに農地、山林が広がっている。

地区内の環境調査を行ったところ、「環境省レッドリスト」及び「いわてレッドデータブック」に登載されている希少種に該当する動植物の確認は見られず、田園環境整備マスタープランにおいて「環境配慮区域」に該当していない地区である。

第９章　換 地 計 画 の 概 要

第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方

本地区は、地区内面積12.9haの水田地域で、区画は10ａ程度の未整備不整形の湿田であり、今後の農業経営を考えて、本事業により生産基盤を整備し、農業機械の作業効率化、営農労力の節減を図り、生産性の向上を得るために、農地を担い手中心に集落別地目別に集団化するように換地計画を樹立する。

第２節　換地区の設定

１．換地区の名称、所在、面積

（第２５表－１）

換　地　区　名	換　地　区　の　所　在	面　積（ha）
駒木	岩手県二戸郡一戸町小鳥谷地内	12.9
計		12.9

２．換地区を設定する理由

計画地区の地形条件はおおむね同様であるので、１換地工区とする。

第３節　換地計画樹立の基本方針

１．従前の土地の地積の基準

（第２５表-2）

換地区名	地　積　の　基　準
駒　　木	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。 但し、上記の日から３ヶ月以内に土地家屋調査士の測量した実測図に、隣接所有者の承諾書を添付して申出があった場合は、その申出地積とする。

２．用途別予定地積

（単位：ha）　（第２５表-3）

換地区名	用途（取得予定者）／前後	非農用地区域外に換地する土地													非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一般国公有地	総合計
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施工地域に含める土地（令第１条の（　）書き			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			創設農用地	合計	特定用途用地			異種目換地	創設非農用地					合計	国	県	市町村他	合計		
						土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	小計			宅地	その他	計		農業経営合理化施設用地	生活上経営上必要な施設用地	公用・公共用施設用地	宅地等	計								
駒木	従前の土地	8.7	3.6	0.1	0.0	－	－	－	12.4	－	－	－	－	12.4	－	－	－	－						－	－	－	0.5	0.5	－	12.9
	換地	7.0	3.6	－	－	－	－	－	10.6	－	－	－	－	10.6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2.3	2.3	－	12.9
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
合計	従前の土地	8.7	3.6	0.1	0.0	－	－	－	12.4	－	－	－	－	12.4	－	－	－	－						－	－	－	0.5	0.5	－	12.9
	換地	7.0	3.6	－	－	－	－	－	10.6	－	－	－	－	10.6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2.3	2.3	－	12.9

※ 従前の土地、その他：雑種地(60㎡)

３．農用地集団化の方針

（第２５表-4）

区　分 換地区名	地帯別、グループ別 団地の設定	個　人　別　換　地　の　方　法		
		位置の選択方法	１戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
駒木	農用地利用集積促進 区域別集団化及び 地目別、作物別集団化	予め特殊地の選定を行なった後、各人の従前の土地が最も密集した位置を基本とするが、育成すべき担い手の経営農用地を中心として集約が図れるように配慮する。	1～2団地	固定畦畔

４．非農用地の換地方法　　該当なし

（第２５表-5）

区　分 地区名	用　途	非農用地区域の位置の概略	面　積(m^2)	換地の手法	換地取得予定者	そ　の　他

第４節　土地の評価及び清算の方法

１．評価の方法

標準地比準方式

従前の土地の中から標準地（利用条件、自然条件ともに最良地）を選定し、標準地の土地価格１点１㎡当りの単価を定め、標準地と比較しながら各々の土地を減点評価する。

２．清算の方法

比例地積清算方式

事業による利益（増価額）を従前の土地の地積に比例して配分する方法

第５節　換地計画樹立の年度計画

（第２５表-6）

区　分 換地区名	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換地処分 予定年度	備　　考
駒木	令和9～11年度	令和12年度	令和12年度	確定測量　令和11年度

第６節　換地処分の時期に関する特則

換地区全部において区画整理工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の２第10項で準用する同法第54条第２項本文の規定に関わらず、換地処分を行うことができる。

第１０章　　事業費の総額及び内訳

単位：千円

事業区分	事　業　費		資金計画			
			国　費	県　費	市町村費	受益者負担
区画整理	純　工　事　費	284,000	156,200　(55%)	85,200　(30%)	28,400　(10%)	14,200　(5%)
	測 量 試 験 費	111,000	61,050　(55%)	33,300　(30%)	11,100　(10%)	5,550　(5%)
	用地買収補償費	17,000	9,350　(55%)	5,100　(30%)	1,700　(10%)	850　(5%)
	換　地　費	30,000	16,500　(55%)	9,000　(30%)	3,000　(10%)	1,500　(5%)
	工　事　雑　費					
	計	442,000	243,100	132,600	44,200	22,100
	事　務　費					
	総　事　業　費	442,000	243,100	132,600	44,200	22,100

第１１章　　効　　用

単位：千円

事業区分	項目／区分	年総効果(便益)額	年増加農業所得額	備考
区画整理	食料の安定供給の確保の関する効果（作物生産効果）	5,734	4,348	
	食料の安定供給の確保の関する効果（営農経費節減効果）	16,101	16,310	
	食料の安定供給の確保の関する効果（維持管理費節減効果）	△ 108	219	
	農村の持続発展に関する効果（耕作放棄防止効果）	287	－	
	その他効果（国産農作物安定供給効果）	1,155	－	
	計	23,169	20,877	総費用総便益比　＝　1.25

第１２章　関 連 す る 事 業

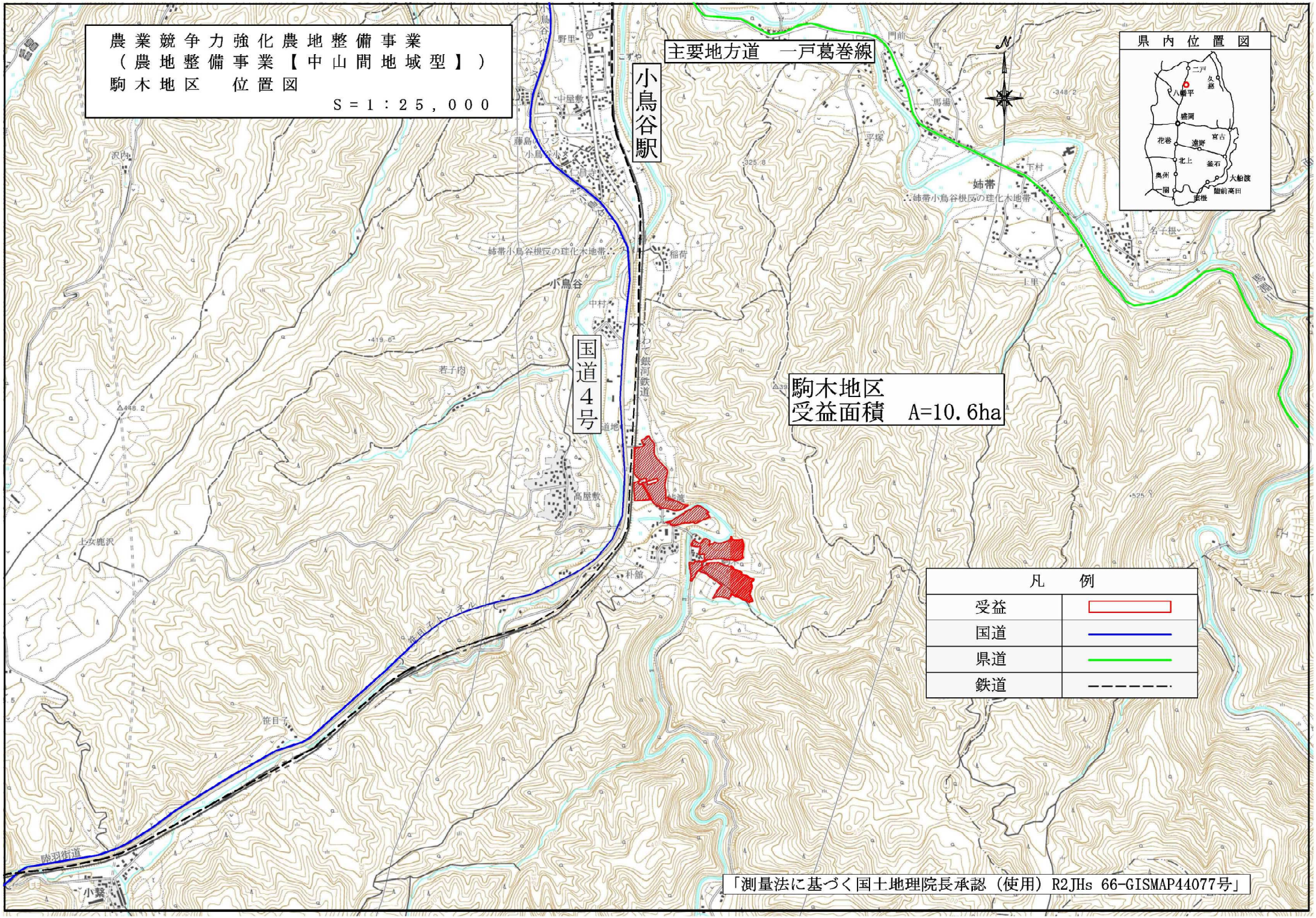
該当なし

（第２８表）

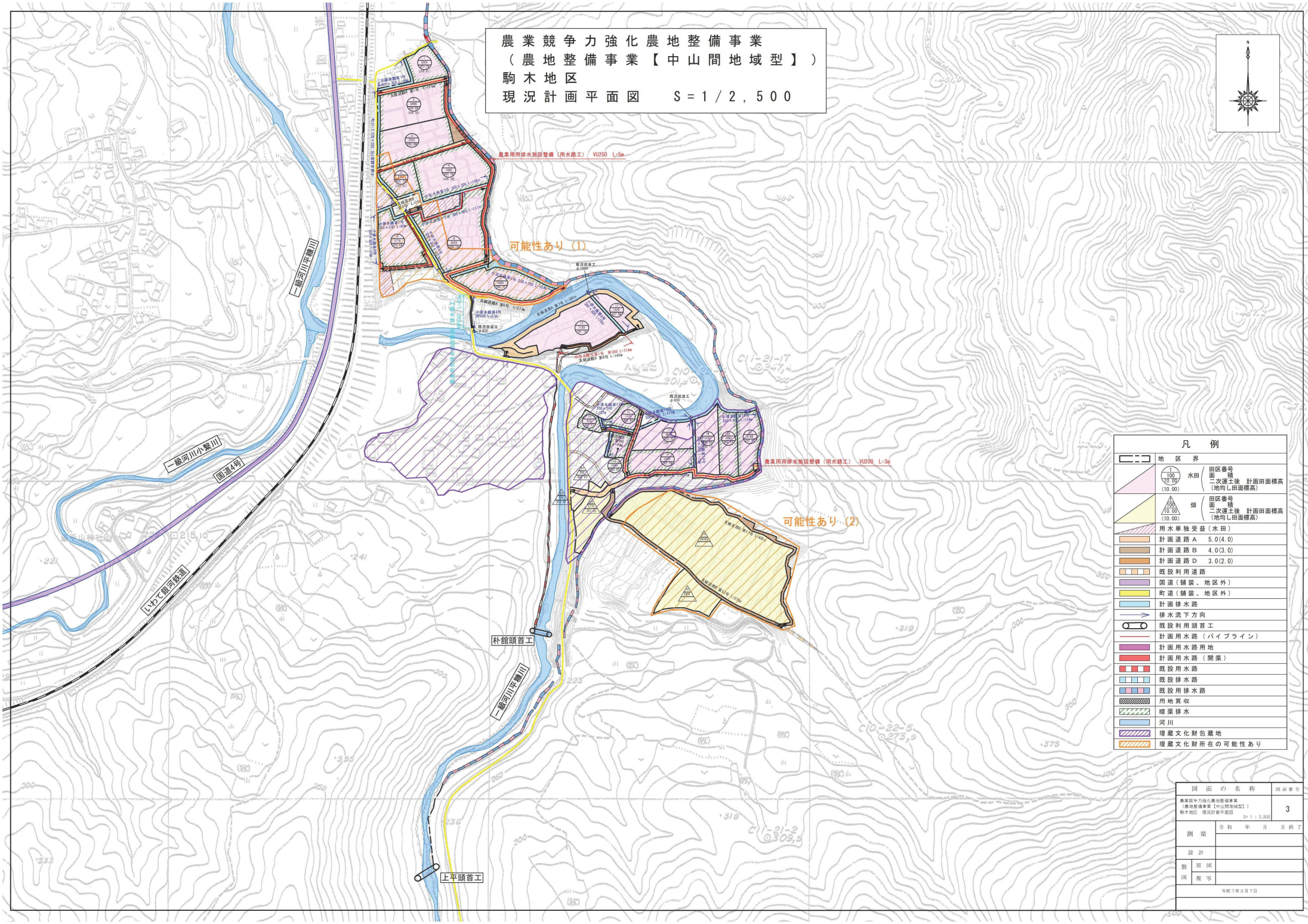
区　分	事　　業　　名	事 業 主 体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容

第１３章　　現 況・計 画 図 面

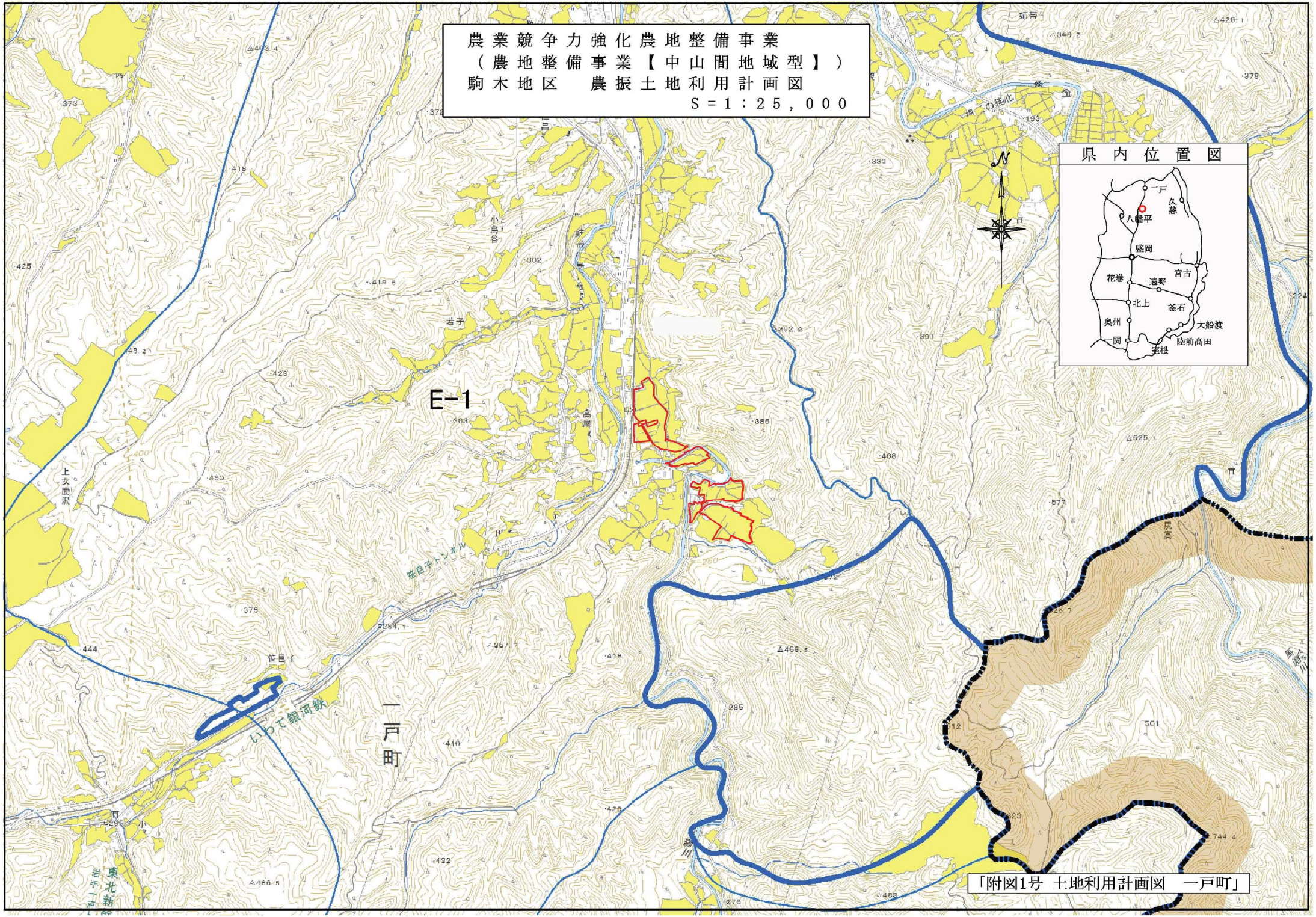
１．位　　置　　図	別途添付
２．現 況 計 画 平 面 図	別途添付
３．土 地 利 用 計 画 図	別途添付
４．主 要 構 造 図	別途添付


農業競争力強化農地整備事業
（農地整備事業【中山間地域型】）
駒木地区　位置図
S＝1：25，000
主要地方道　一戸葛巻線
小鳥谷駅
国道4号
駒木地区
受益面積　A=10.6ha
県内位置図
凡　例
受益
国道
県道
鉄道
「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R2JHs 66-GISMAP44077号」

農業競争力強化農地整備事業
（農地整備事業【中山間地域型】）
駒木地区
現況計画平面図　S＝1／2，500



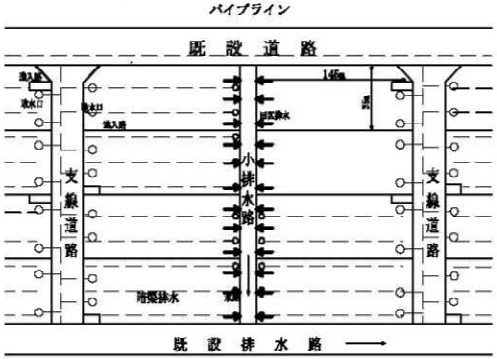
図面の名称	図面番号
農業競争力強化農地整備事業（農地整備事業【中山間地域型】）駒木地区　現況計画平面図　S＝1：2,500	3
測量	令和　年　月　日終了
設計	
製図　原図	
製図　複写	
令和7年3月7日	



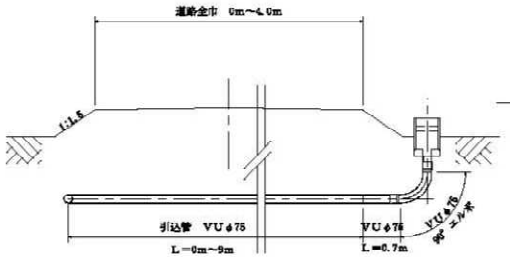
「附図1号 土地利用計画図　一戸町」

駒木地区標準断面図

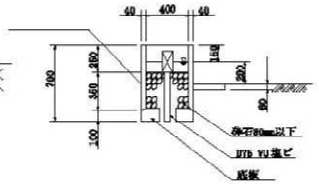
標準区画割図



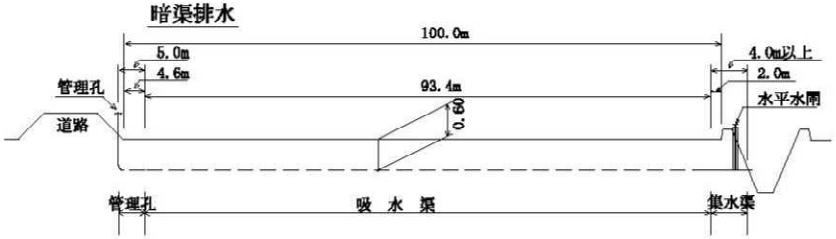
給水栓引込



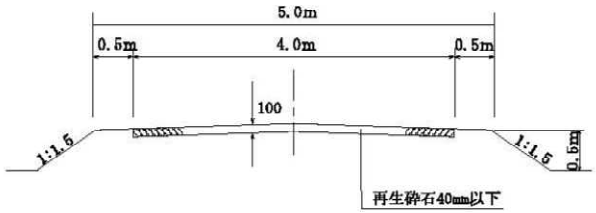
給水栓D＝75mm



暗渠排水

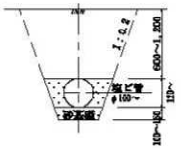


支線道路工A

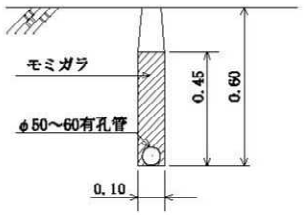


用水路工

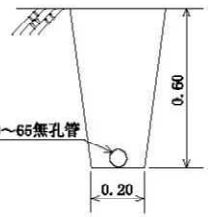
管水路



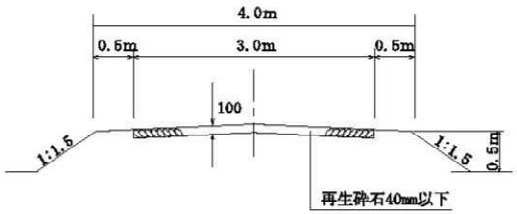
吸水渠断面図



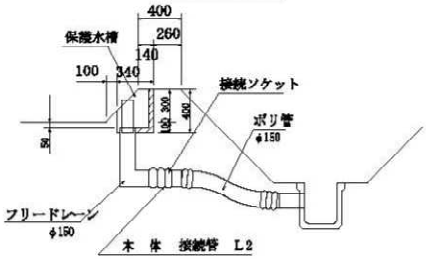
集水渠断面図



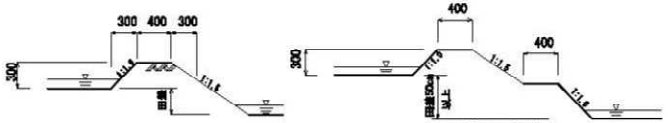
支線道路工B



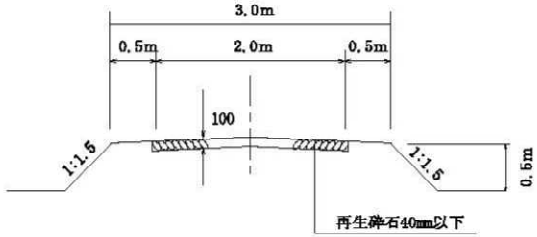
田区排水工



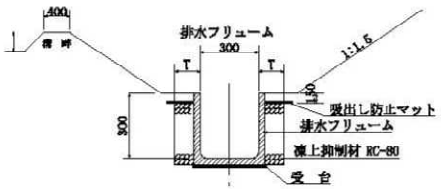
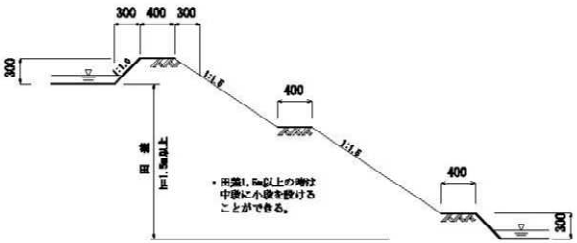
畦畔工



支線道路工D



小排水路工



※凍上抑制材は壁高H=600mm以上の箇合に設置する。